

令和元年度

赤十字活動のご報告

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.



1 / 災害救護活動

日本赤十字社は、日本赤十字社法、災害救助法、災害対策基本法などによって、災害発生直後から復興期までの救護活動やこころのケア活動を行う組織として位置付けられています。

また、三木市に整備した「日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター」において、施設機能を活かして救護員研修などを実施し、更なる災害救護体制の充実と強化に努めています。

1 | 令和元年度日本赤十字社の災害救護活動

平成から令和へと時代が変わり、令和元年度の災害対応は、6月18日に発生した山形県沖地震（震度6強）の情報収集活動に始まり、四国地方・関西地方を通過した超大型台風10号対応、佐賀県、福岡県に被害をもたらした大雨災害、中部地方から東北地方にかけて甚大な被害をもたらした台風15号、19号と全国的に災害が発生しました。

また、2019年12月に中国の湖北省武漢市を中心に広がった新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、国内においてもクルーズ船の集団感染に伴う乗客等の診察・健康管理活動や武漢市からの邦人移送等に伴う経過観察のための一時滞在施設の支援活動に日本赤十字社が大きく関わったところです。兵庫県支部からもクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス（横浜港）及び税務大学校（埼玉県和光市）へ医師、看護師等を派遣しました。

その後も新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、世界保健機関（WHO）が本年3月11日にパンデミック（世界的大流行）を宣言し、今なお、終息の兆しが見えない中、全国の医療機関で懸命な対応が継続されています。

【支援活動】

活動期間	場所	職種	人数
2月22日～24日	クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」	看護師・事務職員	2名
2月22日～26日	クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」	医師	1名
2月24日～26日	税務大学校	医師・看護師	3名



2 | 救護班と救護員の編成及び各種防災・救護訓練の実施

自然災害や大事故が発生し救護班が必要になった場合に直に出動できるよう、県内3カ所の赤十字病院に救護班を編成し、要員登録を行っています。

また、姫路及び神戸赤十字病院では、災害の超急性期に対応する日本DMAT（災害派遣医療チーム）隊員に71名を登録し、発災直後に医療救護が行えるよう資機材を含め備えています。兵庫県支部では、今後、いつ発生するかもしれない大災害に備え、各種防災訓練に参加しました。このほか、救護員の技能向上を図るため、新たに策定した事業継続計画（BCP）に基づき、神戸赤十字病院で多数の傷病者受入れを想定した災害拠点病院研修を実施しました。



【主な救護訓練参加状況】

6月	日本赤十字社第4ブロック（近畿府県）、合同災害救護訓練
9月	兵庫県総合防災訓練、多可町総合防災訓練、大規模地震時医療活動訓練
11月	姫路駅周辺・都市型災害対応訓練、兵庫県石油コンビナート訓練 日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練 姫路市総合防災訓練・国民保護訓練、近畿地方DMATブロック訓練
12月	大阪国際空港航空機事故対策部分訓練
1月	1.17 ひょうご安全の日防災訓練
2月	第八管区海上保安本部巡視船みうら合同訓練

【救護班数】

姫路赤十字病院	8班
多可赤十字病院	2班
神戸赤十字病院	5班
合計	15班

【救護班の編成基準】

医師	1人
看護師	3人
主事	2人
1班合計	6人

【日本DMAT 隊員登録数】

	医師	看護師	業務調整員	計
姫路赤十字病院	4人	13人	9人	26人
神戸赤十字病院	11人	7人	27人	45人
合計	15人	20人	36人	71人

【救護員研修会】

4月	災害派遣医療チーム隊員養成研修
5月	救護員主事研修、救護員基礎・実践研修 災害派遣医療チーム隊員養成研修
6月	災害派遣医療チーム隊員養成研修 災害派遣医療チーム技能維持研修
7月	姫路赤十字病院救護員こころのケア研修 全国赤十字救護班研修、災害派遣医療チーム隊員養成研修
8月	全国赤十字救護班研修、災害派遣医療チーム隊員養成研修

9月	日赤災害医療コーディネーター研修
11月	神戸赤十字病院救護員こころのケア研修 災害派遣医療チーム隊員養成研修 兵庫県災害医療ロジスティクス研修、災害拠点病院研修
12月	都道府県災害医療コーディネーター研修 多可赤十字病院救護員こころのケア研修 災害派遣医療チーム隊員養成研修
1月	災害派遣医療チーム技能維持研修

3 救援物資の備蓄・配付

個人の住宅やマンションが火災や水害等に遭われた際、毛布や緊急セットなどを配付しました。また、不幸にもお亡くなりになられた場合には、ご遺族に災害見舞金を交付しました。



区 分	配布数	備蓄在庫数
毛布	202枚	7,230枚
緊急セット	78セット	3,492セット
安眠セット	0セット	811セット
タオルケット	0枚	5,990枚
災害見舞金の交付 15 件	340,000円	

(令和2年3月末現在)

4 赤十字防災ボランティア

赤十字の災害救護活動に協力することを目的として、現在、リーダー2人、サブリーダー6人、そして個人ボランティア58人が赤十字防災ボランティアとして登録されています。平時より実践研修会等を通してボランティア活動に必要な知識や技術を身につけるとともに、発災時における具体的な活動訓練等によりスキルアップを図り、いち早く被災地において赤十字ボランティアとして活動を行う体制を構築しています。



5 国内災害義援金・海外救援金の受付額

令和元年度に兵庫県支部でお受けした災害義援金、海外救援金は次表のとおりです。

義 援 金	東日本大震災	8,289,221
	平成28年熊本地震	598,329
	平成29年九州北部大雨災害	25,331
	平成30年7月豪雨災害	688,507
	平成30年北海道胆振東部地震災害	159,512
	令和元年8月豪雨災害	575,907
	京都府放火事件被害者	15,915
	令和元年台風第15号千葉県災害	2,648,947
	令和元年台風第15号東京都災害	139,034
	令和元年台風第19号災害	44,244,697

救 援 金	バングラデシュ南部避難民	90,159
	2019年モザンビークサイクロン	13
	中東人道危機救援金	32
	無指定救援金	103,000

義援金・救援金 合計	57,578,604
------------	------------

(令和2年3月末現在 単位：円)

2 / 健康と安全を守る講習

赤十字では、誰もが持っている「苦しんでいる人を助けたいという優しい心」、その優しさを行動に移す“自信”と“勇気”を持っていただけるように、AED（自動体外式除細動器）を活用した心肺蘇生をはじめ、救急法や健康生活支援講習などの講習を県内各地で開催するとともに、将来の災害に備えた地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高め、防災減災に役立つ「赤十字防災セミナー」を積極的に開催しました。

開 催 実 績	区 分	基礎・養成講習		短期講習		指導員養成講習	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
	救急法	61	1,213	192	9,191	0	0
	幼児安全法	5	53	54	1,302	0	0
	水上安全法	3	21	10	508	1	2
	健康生活支援講習	4	57	38	872	0	0

(令和2年3月末現在)

防災セミナー	開催回数	受講者数	指導者養成回数	指導者養成人数
	25	1,481	1	10



3 / 赤十字奉仕団

赤十字の使命とする人道的な諸活動を身近な社会の中で実践しようとする人々が集って結成されたボランティアの組織です。兵庫県支部では、市町を基盤にした地域奉仕団（44 団、42,494 人）、専門的な技能をもった人々による特殊奉仕団（8 団、538 人）、学生を中心に組織された青年奉仕団（2 団、155 人）が登録されています。

1 | 地域赤十字奉仕団

(1) モデル奉仕団

地域赤十字奉仕団のモデル活動として、神戸市灘区赤十字奉仕団が地域防災・献血推進に関する活動を、尼崎市赤十字奉仕団が高齢者・子育て支援に関する活動を、たつの市赤十字奉仕団が地域防災に関する活動に取り組みました。

(2) 研修・訓練

姫路市、中播磨地区、西播磨地区、香美町等の各赤十字奉仕団が、炊き出し訓練や食事の介助、きずの手当などの研修・訓練を実施しました。また、10 月には地域赤十字奉仕団員研修会を県内 6 カ所（豊岡市、姫路市、多可町、たつの市、神戸市、洲本市）で合計 7 回開催し、38 奉仕団（235 人）が参加しました。

(3) 炊出し

1 月 17 日の安全の日のつどいでは、なぎさ公園において兵庫県赤十字奉仕団（16 人）による豚汁（600 食）の炊出しを行いました。



2 | 特別赤十字奉仕団（特殊赤十字奉仕団と青年赤十字奉仕団）

各特殊奉仕団では、無線、潜水、写真など各奉仕団が持っている専門的な知識や技術を活かした活動を展開しています。

また、赤十字防災ボランティア総合訓練、実践研修会にも積極的に参加しました。

神戸青年赤十字奉仕団では、語学ボランティアとしてマレーシア赤新月社との青少年赤十字国際交流事業に参加するなど、国際活動にも取り組んでいます。



4 / 青少年赤十字

世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成を目的に、学校教育の場で「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標を掲げ活動を展開しています。

加盟校数 170校 メンバー数 59,234人

（令和2年3月末現在）

1 | 青少年赤十字の研修事業

(1) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

【8 月 7 日～9 日、神戸市立自然の家：中学生 16 名、高校生 34 名、指導者 16 名】

赤十字やボランタリーサービスなどの学習に加え、防災についての知識の習得や、災害時に役立つ実技研修にも取り組みました。

(2) 青少年赤十字地域別研修会

【12 月 25 日、県立柏原高等学校：高校生 23 名、指導者 4 名】

対象地域を定め、地震や台風等の自然災害や、病気やケガから自分自身の身を守るために必要な知識や技術を身に付けるとともに、災害時の自助・共助の大切さを学びました。



2 | 青少年赤十字の国際交流事業

(1) 第 4（近畿）ブロック合同国際交流事業【9 月 12 日～18 日】

近畿 2 府 4 県で青少年赤十字国際交流事業を実施し各支部においてマレーシア赤新月社高校生メンバー 2 名を受入れ、兵庫県支部では併せて指導者 3 名を受入れました。期間中は、県内の青少年赤十字加盟校訪問、赤十字施設等を見学し、その後、滋賀県で 2 府 4 県の青少年赤十字メンバー、指導者等とともに文化交流やディスカッション等で国際理解・親善を図りました。

(2) 青少年赤十字海外支援事業バヌアツスタディーツアー【8 月 17 日～24 日】

青少年赤十字活動資金（通称：1 円玉募金）等を用いて平成 29 年度より実施している青少年赤十字海外支援事業に関連して、現地における実際の募金の使われ方および募金によって改善した現地の状況を確認するため、兵庫県支部から高校生メンバー 1 名がバヌアツ共和国に派遣されました。



3 | 青少年赤十字研究推進校

加盟校における青少年赤十字活動をより充実したものとするため、年度毎に研究推進校を指定し、赤十字の指定するテーマについての研究を委嘱しています。令和元年度は、小学校 3 校、高等学校 1 校の計 4 校を指定し、その研究成果を兵庫県青少年赤十字研究会で発表いただきました。

4 | その他

兵庫県支部では、加盟校が各学校のカリキュラムの中で青少年赤十字活動を展開できるよう、「健康・安全」「福祉教育」「国際理解・平和」「防災教育」の 4 つの分野の活動プログラムを提供しており、令和元年度は延べ 80 校において実施しました。（令和 2 年 3 月末現在）

5 / 国際活動

世界 192 の国や地域の赤十字・赤新月社などと連携して、開発途上国赤十字社の事業への協力支援、また民族紛争や自然災害による被災者支援への緊急及び復興支援などの人道的活動を行っています。



1 | 国際救援・開発協力要員を海外へ派遣

派遣先	派遣期間	業務内容	派遣者
バングラデシュ人民共和国	H30.11.9 ~ H31.4.23	バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業	姫路赤十字病院看護師
南スーダン共和国	R 1.7.4 ~ R 2.1.16	ICRC 南スーダン紛争犠牲者救援事業	姫路赤十字病院看護師
パレスチナ暫定自治区	R1.11.29 ~ R2.3.10	パレスチナ赤新月社医療支援事業	姫路赤十字病院看護師

2 | インドネシア・コミュニティ防災事業

世界有数の災害多発国であるインドネシアにおいて、地震と津波などの災害から命を守るため、日本赤十字社はインドネシア赤十字社とともに、コミュニティ防災事業に取り組んでおり、兵庫県支部もこの活動を支援しております。

3 | 海外たすけあいキャンペーン

紛争や災害で苦しむ人々や感染症など病気で苦しむ人々を支援するため、今年で 37 回を迎える募金キャンペーンを 12 月に開催し、県内の各地区・分区や街頭募金などを通じて広く県民の皆さまから、また赤十字奉仕団や日赤有功会等の皆さまから多大なご協力をいただきました。

兵庫県支部の実績額 **5,263,085円**

6 / 活動資金

国内外の災害救護活動や各地域で安全安心のため取り組まれる赤十字活動は、活動の意義や理念にご賛同いただいた方々（会員といいます。）からお寄せいただく活動資金によって、また多くのボランティアの方々の奉仕によって支えられています。ご協力いただいた活動資金や奉仕活動は、日本赤十字社の組織的基盤であり、活動を推進するうえでの原動力となっています。

■地区・分区における活動資金のご協力額

各地区・分区（県内各市町）におきまして活動資金へのご協力をお願いし、多くの方々からご協力をいただきました。ご協力いただいた活動資金は、被災者の救援活動や災害への備え、そして地域の安全安心のための活動などに役立てられています。

地区・分区		ご協力額	地区・分区		ご協力額	地区・分区		ご協力額
神戸市	東灘区	6,757,573	相生市	4,578,000	朝来市	3,953,975		
	灘区	4,019,245	豊岡市	10,123,293	淡路市	5,438,783		
	中央区	3,083,226	加古川市	10,854,666	たつの市	9,614,410		
	兵庫区	5,396,495	赤穂市	7,080,560	加東市	3,831,500		
	北区	3,384,764	西脇市	3,124,707	阪神北	猪名川町	1,438,326	
	長田区	3,320,819	宝塚市	7,376,262	東播磨	稲美町	3,415,100	
	須磨区	3,327,819	三木市	3,866,367		播磨町	3,430,719	
	垂水区	4,557,293	高砂市	6,412,050	北播磨	多可町	2,384,993	
西区	2,733,664	川西市	6,143,408	市川町	1,787,400			
神戸市小計		36,580,898	小野市	4,686,810	中播磨	福崎町	2,380,701	
姫路市	54,549,318	三田市	3,766,245	神河町		3,072,000		
尼崎市	20,032,188	加西市	3,665,800	西播磨	太子町	3,452,150		
明石市	3,981,558	篠山市	4,545,050		上郡町	2,628,450		
西宮市	18,538,020	養父市	3,226,300	佐用町	2,694,535			
洲本市	2,873,714	丹波市	7,797,940	但馬	香美町	2,564,114		
芦屋市	4,217,185	南あわじ市	4,883,763		新温泉町	2,129,210		
伊丹市	5,527,980	宍粟市	5,273,056	地区・分区合計		297,921,504		
				支部扱い		304,932,974		
				総計		602,854,478		

（令和 2 年 3 月末現在 円）

7 / 医療事業

姫路、多可及び神戸の3カ所の赤十字病院では、いずれも各地域の中核病院として救急医療やへき地医療など安全で安心な医療サービスの提供を行うとともに、日本赤十字社の使命でもある災害救護活動や国際活動を展開できる体制の強化を図りました。

姫路赤十字病院

住 所：〒670-8540 姫路市下手野 1-12-1
電話番号：079-294-2251

標榜科目：内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、肝臓内科、腎臓内科、糖尿病内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、小児外科、外科、乳腺外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、化学療法内科

多可赤十字病院

住 所：〒679-1114 多可郡多可町中区岸上 280
電話番号：0795-32-1223

標榜科目：内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、婦人科、眼科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、皮膚科、精神科、麻酔科、歯科

神戸赤十字病院

住 所：〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-3-1
電話番号：078-231-6006

標榜科目：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、心療内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、皮膚科、病理診断科

令和元年度 業務実績

(人)

区分	姫路		多可		神戸	
	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均
外来患者	333,316	1,377	32,303	135	138,343	576
入院患者	191,735	524	34,791	95	104,304	285

8 / 看護師養成

看護専門学校では、一般の看護教育にとどまらず、国内外における災害救護活動においても活躍できる看護師の養成を行いました。

定員数、在籍者総数

定員数	学年	1 年生	2 年生	3 年生	合計
各学年 40 名	令和元年度学生数	39	37	43	119

(令和2年3月末現在 人)

卒業生

	卒業生数	国家試験合格率	就職率
令和元年度	37 名	100%	100%

9 / 血液事業

血液事業では、全国7カ所にブロック血液センターを置き、献血者や血液製剤の安全対策の充実や血液製剤の安定供給をはじめ、事業の効率化、健全な経営基盤の確立を図っています。

兵庫県赤十字血液センターは、近畿ブロック血液センター内の地域血液センターとして、県内7カ所の献血ルームと移動採血車で、県民の皆様や県内で働く方々に献血いただく「採血業務」と血液製剤を県内の医療機関にお届けする「供給業務」を担っています。

本年度においても、前年度に引き続き安定的に献血者を確保することができ、兵庫県内だけでなく近畿管内全体の安定供給に貢献することができました。

また、若年層を中心とした幅広い年齢層を対象に、様々な献血推進活動を展開しました。

- ・ はたちの献血キャンペーン
- ・ 赤十字いのちと献血俳句コンテスト
- ・ 全国学生クリスマス献血キャンペーン
- ・ 世界献血者デー
- ・ 献血セミナー (主な取り組み例)

献血者の受入

成分献血	400mL 献血	200mL 献血
58,936	144,110	5,245

(令和2年3月末現在 人)

輸血用血液製剤の供給

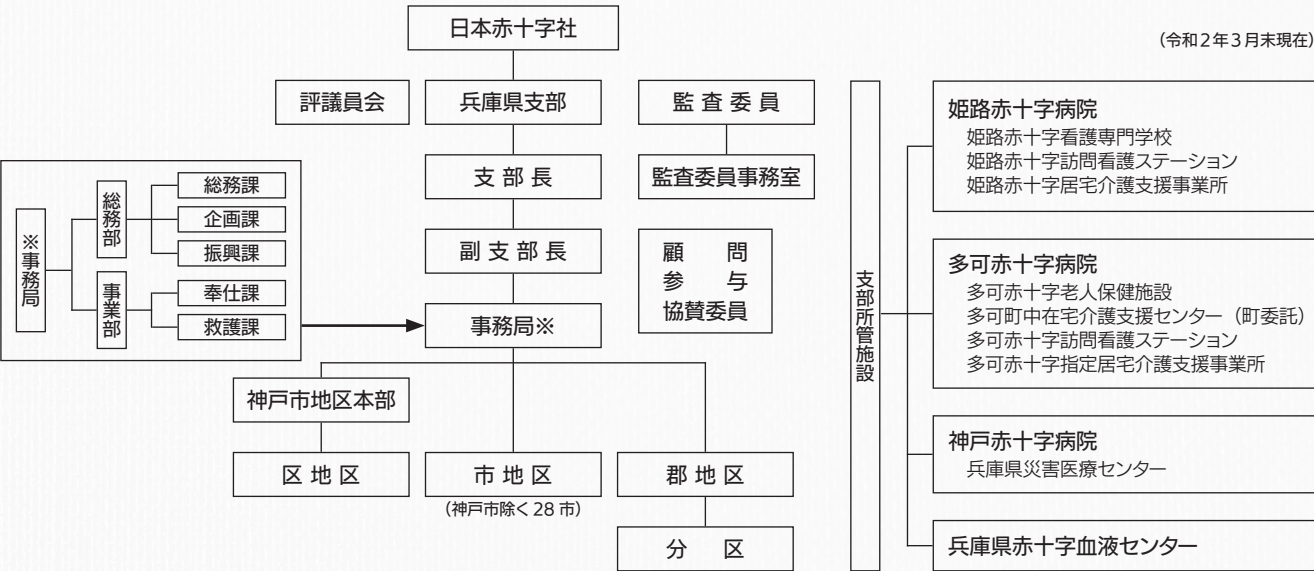
赤血球	血漿	血小板
125,091	38,100	29,368

(令和2年3月末現在 本)



10/日本赤十字社兵庫県支部の現勢

- 支 部 長：井戸 敏三（兵庫県知事）
- 副支部長：藪本訓弘（兵庫県健康福祉部長）、寺崎秀俊（神戸市副市長）、庵途典章（兵庫県町村会長）
- 監査委員：3 名 ■支部顧問：1 名 ■支部参与：3 名 ■協賛委員：8 名 ■評 議 員：54 名



11/決算報告

令和元年度の各施設等の歳入歳出決算を報告します。

■一般会計

個人・法人の皆様からの活動資金等を主な財源に、災害救護、救急法等の講習会、青少年赤十字やボランティアの活動など、兵庫県支部の事業にかかる収支をまとめたものです。

日本赤十字社兵庫県支部 (千円)		
科 目	決算額	内 訳
歳入	活動資金収入	602,854
	補助金、交付金	7,196
	繰入金	33,962
	前年度繰越金等	63,851
	歳入合計	707,863
歳出	災害救護事業費	43,698
	社会活動費	77,060
	国際活動費	2,521
	指定事業地方振興費	55,560
	地区区分交付金	61,241
	事業振興費	64,685
	諸支出金	148,745
	本社送納金	80,438
	その他	116,165
	歳出合計	650,113
歳入歳出差引額		57,750

■医療施設特別会計

医療施設の運営等にかかる収支をまとめたもので、赤十字病院等医療施設の診療収入を主な財源として、医療施設運営のための費用等に充てられます。

県内3赤十字病院（姫路、多可、神戸） (千円)		
科 目	決算額	内 訳
収益的収入	医業収益	34,808,629
	医業外収益	745,113
	医療社会事業収益	50,777
	付帯事業収益	3,059,214
	特別利益	7,707
	収益的収入合計	38,671,440
収益的支出	医業費用	33,487,784
	医業外費用	253,350
	医療奉仕費用	524,151
	付帯事業費用	3,143,170
	特別損失	20,468
	法人税等	9,165
収益的支出合計		37,438,088
収支差引額		1,233,352
		黒字施設数 1 施設
		黒字額 1,411,284 千円
		赤字施設数 2 施設
		赤字額 177,932 千円

※平成24年度から血液事業特別会計は、日本赤十字社本社にて一元化されたため記載しておりません。

あなたの身近に赤十字

●救急箱・AED の配備

県内の警察署、交番など750カ所に救急箱を設置して、とっさの手当てに備えるとともに、警察施設にAED(自動体外式除細動器)を配備し県民の安全安心に役立てていただいています。



●あなたの街の災害救援車

県内の各市町での災害救援や赤十字活動を支援するために災害救援車を配備しています。

令和元年度は、川西市地区、神河町分区の2台の車両を更新しました。



●赤十字ポスターコンクール

次代を担う学生の皆さんに「いのちを守る、いのちを救う」ことの大切さを感じていただき、たすけあいの心を育てていただくきっかけになればと毎年開催しています。県内の小・中・高・特別支援学校を対象に「いのちを守る赤十字の活動」をテーマに作品を募集したところ、今年度は68校、560作品の応募があり、40作品が入賞しました。



●救急法ミニ講習会イベント

大切な人のいのちを守るための“正しい知識と技術”を身につけていただくことを目的に「知っていれば安心!!～心肺蘇生とAEDの使い方～」と題して救急法ミニ講習会を県内各地で実施すると共に、各種団体主催の救急法イベントに参加しました。イベントとあわせて赤十字事業の広報も行い、更なる赤十字の理解者の増進と活動資金の増強に努めました。



実施日	会場
5月12日(日)	防災・減災フェスティバル(三田市役所前・風の広場)
6月29日(土)	ブルメール舞多間
9月1日(日)	防災減災メッセ(洲本市防災公園)
9月29日(日)	みんなの防災+ソナエ(イオンモール神戸北)
10月26日(土)	赤十字HATふれあいフェスタ(神戸赤十字病院)

実施日	会場
10月27日(日)	兵庫県広域防災センター実戦デモ
11月9日(土)	柏原統合再編合同フェスタ(兵庫県立丹波医療センター)
11月30日(土)	ひょうご防災フェスタ(神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス)
1月17日(金)	ひょうご安全の日1.17のつどい(なぎさ公園)

●赤十字活動を PR

県内で開催されたイベントへの出展などを通じ、いのちを守る日本赤十字社の活動を広く知っていただくとともに、赤十字活動への参加、活動資金への協力を呼びかけました。

実施日	イベント名	会場
5月19日(日)	神戸まつり「おまつりパレード」	神戸市中央区
10月26日(土)	ALL HAT2019 with 赤十字HATふれあいフェスタ	兵庫県支部・血液センター合同庁舎、神戸赤十字病院
1月17日(金)	ひょうご安全の日1.17のつどい	兵庫県支部・血液センター合同庁舎、なぎさ公園

